

意見書

子ども医療費助成の拡充
学校給食費無償化支援を求める

2月定例議会では次の意見書を全会一致で可決し、宮城県知事へ提出することにしました。(要約して掲載)

子どもの医療費助成制度は、少子化対策に重要な施策であり、県内では全ての市町村で対象年齢の拡大などを行っているが、財政的事情などにより地域間で格差が生じている。県においては平成29年度から対象年齢が引き上げられたが、一層、安心して子どもを産み育てる環境を整備し地域間格差を解消するため、さらなる医療費助成の拡充が求められる。

日本国憲法において「義務教育は無償とする」と定められており、学校給食は食育の生きた教材として位置づけられ、重要な教育活動(義務教育)の一環とされる。学校給食の食材分については、多くの自治体で保護者負担としているが、コロナ禍における物価高騰

また、全国一律の制度とするため、法律の整備について国へ働きかけること。

① 子ども医療費助成の拡充について、通院・入院とともに県の補助年齢を18歳までに引き上げるとともに、所得制限を撤廃すること。

② 保護者の経済的負担軽減のために、市町村が取り組む小・中学校給食費無償化事業への財政的支援を行うこと。

さらに、全国一律に学校給食費の完全無償化を実施するよう国へ強く要望すること。

提出先

宮城県知事

陳情

2月定例議会に3件の陳情が提出されました。※敬称略

日本全体で解決すべき問題として、普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情
コドソラ

代表 与那城 千恵美

会計年度任用職員の不安定雇用問題に対

する緊急要望書
公務非正規女性全国ネットワーク
(はむねっと)

代表 渡辺 百合子

庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

宮城県民の暮らしと安全を守る会
代表 菊池 軌夫

議員辞職について

令和5年2月6日、澤邊幸浩議員から議員辞職したい旨の辞職願が議長に提出され、同日付けで議長がこれを許可しました。

なお、議員辞職に伴い次のとおり選任されました。

文教民生常任委員会

副委員長 尾形 勝通

広報編集調査特別委員会

委員 尾形 勝通

宮城県後期高齢者医療

広域連合協議議員

佐藤 文男

議長談

この度の澤邊幸浩氏の議員辞職については、学歴詐称というあってはならない事由であり、市民の皆さまを失望させるとともに、議会に対する市民の信頼を失墜させることになり大変遺憾に思っています。また、これまでも一緒に活動してきた仲間が辞職しなければならなかったことは、大変残念に思います。

議員は、常に市民から見られる立場にあり、市民の負託をうけた議員としてその職責の重さを十分に認識し、議会活動はもろろんのこと、個人の議員活動においても不信感や疑念を持たれることのないよう、言動には十分留意して行動していくことを、議員全員で改めて確認してきたところで、

議会としては、市民の信頼回復に向けて議員一人丸となって議会活動に取り組んでいきますので、今後とも市民皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

